

飯塚市議会だより

No. 28

2012.8.1

年4回発行：飯塚市議会 〒820-8501 飯塚市新立岩5番5号 電話 22-0214 FAX 28-1251
ホームページ：http://www.city.iizuka.lg.jp/giji/
メールアドレス：giji@city.iizuka.lg.jp

6月定例会を開催 飯塚市自治基本条例策定委員会の設置条例を可決

平成24年第2回定例会を6月7日から6月29日まで開き、市長提出の平成24年度飯塚市一般会計補正予算など19議案、議員提出の意見書案6件および決議案1件、請願1件、合わせて27件を審議しました。

その結果、市長提出議案9件を原案可決、5件を承認、人事議案5件に同意、議員提出議案7件を原案可決、請願1件を採択しました。

主な議決内容は次のとおりです。

市長提出の議案

原案可決したもの

●平成24年度飯塚市一般会計補正予算(第2号)

当初予算編成後に発生した事由により早急に執行すべき事業に係る経費を補正するもので既定の予算総額に4億8754万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を595億7154万8千円とするものです。

●飯塚市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例

自治基本条例の策定に関して調査審議させるため「飯塚市自治基本条例策定委員会」を設置するものです。

●飯塚市税条例の一部を改正する条例

地方税法の改正に伴い、個人住民税については、退職所得の分離課税に係る所得割の控除措置の廃止、公的年金等に係る所得以外の所得を有しなかった者が寡婦控除を受けようとする場合の申告書の提出を不要とすること、平成26年度から平成35年度までの個人の市民税に限り、均等割額に500円を加算すること。固定資産税については、課税標準の特例措置2件の課税標準の軽減の程度を条例で決定できるようにする仕組み「わがまち特例」を導入し、軽減割合については従前通りとすること。たばこ税については、来年4月1日以後のたばこ税の税率を1千本につき644円引き上げて5,262円に、旧3級品については1千本につき305円引き上げて2,495円とするものです。

(※県から市への税源移譲を行うもので、たばこの値上げをするものではありません。)

●契約の締結(競走場走路改修工事)

飯塚オートレース場の走路改修工事について、「株式会社NIPPON飯塚出張所」と2億475万円で購入契約を締結するものです。

●財産の取得(消防ポンプ自動車)

飯塚市消防団飯塚方面隊第2分団目尾分隊、第6分団相田分隊に消防ポンプ自動車各1台を買い替え、配備するものです。

●財産の取得(教育用情報機器等)

穎田小学校外10校のコンピュータ教室の機器等を整備するため、コンピュータ441台、プリンタ11台等を取得するものです。

承認したもの

●専決処分承認(飯塚市税条例の一部を改正する条例)

地方税法の改正に伴い、新築住宅に係る固定資産税の減額措置を2年延長すること、固定資産税の負担調整措置は、原則として、現行の仕組みを3年延長すること、住宅用地に係る据置特例を経過的な措置を講じた上で平成26年度に廃止するものです。

●専決処分承認(飯塚市国民健康保険条例の一部を改正する条例)

地方税法の改正に伴い、東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長の特例を設けるものです。

●専決処分承認(平成23年度飯塚市下水道事業会計補正予算(第5号))

工事請負費の繰越等により仮払い消費税額が見込みを下回り、消費税納税額が不足するため、収益的支出で984万円を増額し、予算の総額を12億4780万7千円としたものです。

●専決処分承認（平成24年度飯塚市水道事業会計補正予算（第1号））

県産炭地域振興センターの新産業創造等基金支援事業による助成を受け、久保白ダム等における水質改善調査、研究を行うもので、収益的収入で2千万円を増額し、予算の総額を20億5666万4千円とし、収益的支出で3266万1千円を増額し、予算の総額を20億173万4千円としたものです。

●専決処分の承認（平成24年度飯塚市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第1号））

平成23年度決算の収入不足を平成24年度予算から繰上げ充用を行うため関連経費を補正するもので、既定の予算総額に34億7500万円を追加し、予算の総額を247億9052万6千円としたものです。

議員提出の議案

原案可決したもの

意見書

- 「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書の提出
- 再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書の提出
- 東日本大震災の災害廃棄物の広域処理に関する意見書の提出
- 災害廃棄物の福岡県内での広域処理に関する意見書の提出

●少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書の提出

●基地対策関係予算の増額等を求める意見書の提出

これら6件の意見書は各関係大臣、関係機関等に送付しました。

決議

●新庁舎建設に関して慎重な審議、検討を求める決議

請願

採択したもの

●明星寺地区市道の待避所設置工事(案)に反対する請願

人事議案

公平委員会委員に選任することに同意

笹田 伸子 氏

人権擁護委員に推薦することに同意

國武 徳子 氏

中村二三子 氏

高岡 備子 氏

鹿毛 謙吉 氏

第2回定例会会期日程

6月7日(木)

・会期の決定

・明星寺地区採石場周辺市道問題に対する答弁の訂正について

・行政報告

・各委員長報告、質疑、討論、採決

・議案の提案理由説明

6月13日(水)

・常任委員会(経済建設)

6月18日(月)、6月19日(火)

・一般質問

6月20日(水)

・一般質問

・常任委員会(経済建設)

6月21日(木)

・一般質問

・議案に対する質疑、委員会付託

・追加議案の提案理由説明、質疑、委員会付託

・請願の委員会付託

6月25日(月)

・常任委員会(厚生・経済建設)

6月26日(火)

・常任委員会(総務・市民文教)

6月29日(金)

・各委員長報告、質疑、討論、採決

・人事議案の提案理由説明、質疑、討論、採決

・議会選出各種委員等の選出

・議員提出議案の提案理由説明、質疑、討論、採決

・報告事項の説明、質疑

・署名議員の指名

平成23年6月、9月、平成24年3月の本会議において、明星寺地区採石場周辺市道に関する執行部の答弁に誤りがあったことが判明しました。これを受け6月定例会の初日に、市長より「明星寺地区採石場周辺市道問題に対する答弁の訂正」があつておりますので、その全文を掲載します。

このたびの明星寺地区採石場周辺市道問題に関し、本会議での執行部の答弁に誤りがあることが判明しましたので、その概要を報告しお詫び申し上げますとともに、訂正をお願いするものであります。答弁では300メートル以内に車道幅5メートル以上の部分があり、すれ違いが可能であると答弁しておりましたが、去る3月26日に地元立ち会ひでの現地再測の結果、車道幅が5メートル以下と判り、大型車通行に制限を受ける道路であることが判明したものであります。また、L字型側溝は車道幅に含むとしておりましたが、L字型溝は路肩部分であり車道幅に含まれないものであります。

ここに市政を預かる責任者として市民並びに議員の皆様方に対し深くお詫び申し上げますとともに、訂正をお願いするものであります。

なお、本件に関しましては関係職員に對して去る5月10日に懲戒処分を行ったところであり、今後、事務処理のチェック体制の甘さや不備を改め、職員の資質の向上に努めてまいります。以上簡単ではございますが、概要を報告し衷心よりお詫び申し上げます。

一般質問

市の一般事務について14名の議員が一般質問を行いました。その一部を抜粋し、要旨を掲載します。

坂平 末雄 議員

地方卸売市場について

【議員】卸売市場の民営化協議については、新筑豊青果株式会社から民営化断念の意思表示が示されたとのことだが、今後の方針はどのように考えているのか。

【農林振興課長】卸売市場は市民生活を支える必要不可欠な施設であるため、当分の間は公設として継続するが、市として正式に民営化を断念したわけではないため、今後、早急に方針を決定していく必要があると考えている。

【議員】市場が地域にとって必要であることに誰も異論はない。しかし各市場の取扱量は減少し続けており、現在のような広大な敷地は必要ない。適切な敷地へ移転し、一等地である現在地を有効活用すべきである。今後のまちづくりも含め、地域の活性化に向けて早急に方針を決定してほしい。

介護保険事業計画について

【議員】この計画は専門委員会です十分に審議され、日常生活圏域を地区公民館単位とした12地区に設定するとしているが、穂波公民館は分割、立岩公民館は統

廃合するとなっている。公共施設等のあり方に関する第2次実施計画における地区公民館のあり方と異なるのではないのか。

【介護保険課長】本計画では「地区公民館のある地域を単位とした」と記載しているため、あたかも地区公民館ごとに日常生活圏域を設定しているかのように読み取れるが、正確には中学校区と地区公民館の活動区域を整合させたものである。

【議員】あたかも読み取れるというのは無責任であり、表現が間違っているなら訂正し、正しい説明をすべきである。

【介護保険課長】説明が不足していた点はお詫びする。より分かりやすい説明を心がけていく。

【議員】市民に公表する計画である以上、慎重な取り扱いをするよう指摘する。

佐藤 清和 議員

自治会の加入促進について

【議員】北九州市では自治会加入促進事例集が配布され、他市でも加入促進のためのマニュアル作成や条例の制定を行っている。加入促進については市は積極的に関わっていくべきであり、担当課だけでなく市全体で取り組むべき問題である。本市でも自治会の課題を把握し、その解決方法を検討すべきではないのか。

【市民活動推進課長】自治会連合会との意見交換を行う中で各自治会の加入低下の原因把握に努め、どのような取り組みが加入促進につながるのか先進事例等を参考にしながら進めていきたい。

【議員】まちづくり協議会は自治会組織がしっかりしていなければ、設立しても数年後には機能しなくなる恐れがある。まちづくり協議会を推進している本市ならではの加入促進活動を強く要望する。

学校選択制の廃止について

【議員】25年度からの制度廃止にあたり、制度を利用している穂波地区の児童生徒に対してどのような配慮を行うのか。

【学校教育課長】24年度末までにこの制度を利用した場合、①児童生徒は卒業まで継続して在籍できること、②現在在籍する小学校区の中学校へ入学を希望すれば入学できること、③利用した児童生徒の弟妹が希望すれば同一校へ入学できることの3点について配慮を行う。

【議員】制度導入時はPTAが反対運動を起こすほど混乱した。導入するときはその重要性を必死に説明したが、廃止のときはお知らせの配布のみということに非常に残念である。速やかに全保護者に理解してもらえるように周知してほしい。また、この制度によって行われてきた教育フォーラム等はぜひ残し市全体に広げてほしい。

瀬戸 元 議員

震災がれきの受け入れについて

【議員】今年3月22日に震災がれきの受け入れについての決議を議会で可決しているが、今後のスケジュールはどのようなになっているのか。

【環境施設課長】具体的なスケジュールは決まっていないが、市民の中には放射能の影響や安全基準等について、不安や不信感を持っている方もおられる。本市において、現在受け入れの可否を検討しているところだが、処理量に対する船舶等での大量輸送による搬入の問題、最終処分場の容量の問題、放射線物質についての安全性の知見等により、市単独での受け入れは困難であると考えており、今後も慎重に検討していきたい。

【議員】市民の多くの方々が放射能での汚染を危惧している。復興支援については、物資の提供や支援金など別の形でも可能だと考える。



宮城県石巻市のがれき集積場

明星寺地域のゴミ埋め立て

問題について

【議員】埋め立てをした経緯は。

【環境対策課長】約23年前、相田地区の旧清掃工場のオーバーホール期間中に焼却できないごみを個人の所有地に許可を得て埋め立て処理したもので、その後、土地の地権者が代わり、地権者及び隣接する土地の地権者から市に対し、埋め立てたごみの撤去及び埋め立てた箇所の汚染補償の申し入れがあり、現在弁護士に委任を行い争訟中である。

【議員】このごみを埋め立てていた期間に何か検査をしたのか。

【環境対策課長】当時の関係者や職員の話では検査はされていなかったと考えている。

【議員】市としてすぐに環境汚染の調査を行うべきであり、適切な対応をとってほしい。

藤浦 誠一 議員

水洗化事業について

【議員】下水道の事業計画区域区内であっても工事完了まで何年も下水道への接続ができない地域や地形等の関係で接続ができない地域があるが、それらの地域は計画区域であるために合併浄化槽設置費補助金も受けられない。水洗化したくてもできない問題や補助金に対する不平等感が生じるようになってきているが、計画や制度の見直しを行うべきではないか。

【下水道課長】計画区域の見直しにおいてはさまざまな条件を考慮して計画を立てているが、指摘の事例も生じているので、事業変更認可申請の前には対象地域の皆様に説明を行い、意見を聞きながら区域の設定を行っていくことと併せ、県とも協議しながら他市の状況等も踏まえ検討していく。

学校給食の安全性について

【議員】学校給食に関して、食品の放射性物質検査はどのように行われているか。

【学校給食課長】給食に限らず食品中の放射性物質の検査については厚生労働省が定めたガイドライン等に基づき、各都道府県保健所設置市と特別区で計画的に実施されている。

【議員】子どもや孫たちの食の安全は誰もが気になる場所である。給食を提供する時点において検知器などで確認するなど懸念を払拭する取り組みをしてほしい。

国旗掲揚、国歌斉唱について

【議員】国旗や国歌に関して、明日を担う子どもたちにどのような指導をしているか。

【学校教育課長】日本人としての自覚を養い、国を愛する心を育てることは重要であり、国旗や国歌の意義やそれらを尊重する態度について指導するとともに、入学式、卒業式などにおいては全小中学校で国旗掲揚、国歌斉唱をしている。

また、教職員についても、儀式的行事等における国旗掲揚、国歌斉唱は法令遵守の基本であり今後も徹底していく。

【議員】教育現場だけでなく市役所等でも同様の取り組みを期待する。

宮嶋 つや子 議員

新庁舎建設の慎重な検討を

【議員】市が試算していた耐震改修費37億円の内訳は。

【庁舎建設対策課長】概算の積算として、耐震診断費2800万円、設計委託費1億5500万円、改修工事費30億3600万円、仮庁舎整備費2億9400万円、地質測量、移転費等のその他経費が2億200万円と試算している。

【議員】もっと安価な改修方法もあるのではないか。新築計画を住民投票により改修とした鳥取市の事例もある。もう一度立ち止まって住民の意見を聞き、本当に無駄遣いはないのかという観点からぜひ考え直してほしい。

国保税の10割減免について

【議員】生活保護基準以下の収入で生活保護を受けていない世帯は大変厳しい暮らしをしている。そういう方々について、申請により国民健康保険税を全額免除する制度を検討してはどうか。

【保健福祉部長】国保会計は被保険者の約6割程度が税の軽減を受けられており、財政基盤が脆弱である。現状以上の減免を行えば減免対象者以外の負担がさらに大きくなることなどから、10割減免は大変難しいと考えている。

明星寺採石場周辺市道問題について

【議員】市内の他の道路でも車両制限令

に違反してダンプが通っているところがあるが、ここだけ通行を止める理由は。

【土木管理課長】市内に車両制限令をかける道路は多数あるが、当該市道については大型車両の通行禁止を求めて、請願が議会でも採択されたこと、市長あての要望書、要請書が提出されていること、地域住民の要望が多いことや、大型車の通行が多く、他の通行者の安全が阻害されていることなどを総合的に考慮し措置命令を行っている。

梶原 健一 議員

介護保険事業計画について

【議員】現在、介護認定の状況についてはどのようなになっているのか。

【介護保険課長】5月末現在で、65歳以上の1号被保険者数3万3308人に対し、認定者数は7140人で認定率は21.4%となっている。

【議員】お年寄りの5人に1人以上が認定を受けているわけだが、介護保険事業の円滑な運営を図るために、適切な情報提供のほかにどのような苦情処理、相談体制をとっているのか。

【介護保険課長】市では地域包括支援センターをはじめ、市内12カ所の在宅支援センターや課の窓口で迅速な対応に努めているところであるが、介護サービスに関する理解不足や誤解もあることから身近なケアマネージャーに相談することも大切であると考えている。

観光行政について

【議員】新たな観光資源の掘り起こしについて、どのように考えているのか。

【商工観光課長】新たな観光資源の掘り起こしとしては、長崎街道、スイーツ、グルメ等が考えられる。長崎街道については、内野宿の町並みを活用した観光振興、地域活性化を推進するために活性化推進協議会などと協議を行っている。

【議員】本市の特産品はどのようなものがあるのか。

【商工観光課長】特産品については、内野地区のゆずごししょうやドレッシング、天道地区の合鴨農法米を使用した地酒、庄内ふき、穎田のウコンなどがある。内野宿では今年度、活性化推進協議会が中心となり、四方竹というタケノコを特産にする事業を計画し、開発に取り組まれている。



長崎街道内野宿の町並み

松本 友子 議員

公立保育所・幼稚園のあり方について

【議員】来年度開所予定の幸袋幼稚園と幸袋保育園を連携させる認定こども園は、平成28年度から民営化される予定であるが、その理由は何か。

【学校教育課長】公立保育所・幼稚園のあり方に関する実施計画において、元々民営化を計画していた幸袋保育所との連携型であることを踏まえ民営化とした。

【議員】飯塚市公立保育所民営化等実施計画には民営化する施設は特定の地域に偏ることなく、過去に統廃合等をした施設がない場所という記述がある。幸袋幼稚園は3園1分園を統合した経緯があるが、統合時、市民へどのように説明し、理解を求めたか。

【教育部長】公立幼稚園としての役割の充実を図っていくとの説明を行った。

【議員】市民は統合された後に、いずれ幸袋幼稚園も廃園されるのではないかと心配したが、市は廃園とならないために統合に協力してほしいと説明したのではないのか。

【教育部長】合併前は公立幼稚園を1園に統合し、市内に1カ所だけとなった幸袋幼稚園で公立が担う役割をできる限り存続する考えであった。しかし、合併後市内に3園となり、幼稚園機能を持つ他の2カ所の認定こども園を公立として維持していくことで市全体の幼稚園教育の

向上を図っていきたいと考え、今回の計画に至ったものである。

【議員】民営化する理由がよくわからない。また、認定こども園については不安を感じている保護者もいることから、もう少し時間をかけ不安を解消しながら開所に向けて進めてほしい。

守光 博正 議員

LED防犯灯について

【議員】市で管理している防犯灯をすべてLEDに切り替えるほどのかなりの費用がかかるのか。

【総務課長】初期投資に約6300万円かかる。また、年間の維持管理経費としては、現行の蛍光灯等では電気料金と修繕費を含め約690万円かかるが、LEDに切り替えた場合は電気料金のみで約350万円になると試算している。

【議員】初期投資では約6300万円の費用がかかるが、LEDの防犯灯は寿命が約14年間あるため、年間で約340万円、14年間では約4760万円の削減が見込まれる。この初期費用の負担を抑えるために、合併特例債を使うことはできないのか。

【総務課長】合併特例債の活用については、事業が具体化した時点で県に相談をすることになると思うが、防犯灯のLED化については、自治会に対する防犯灯の改修補助金のあり方を含め関係各課と協議していきたい。

通学路等の安全総点検について

【議員】通学路の危険箇所について、これまでどのような対策を行ってきたのか。

【学校教育課長】市内全小中学校で毎月一日、二十日を学校安全の日と位置付けて、校区の危険箇所等で教職員が登校時の安全指導を行い、教育委員会でも市内のパトロールを実施している。また、危険箇所については、PTA連合会と協力して調査を行い、改善が必要な箇所は要望書に関係各課に提出し、対応をお願いしている。

【議員】今後とも教職員への指導の徹底、また、児童生徒に対しては全体的な指導と併せて、学年ごとにきめ細やかな指導をしていただくよう要望する。

八見 雄一 議員

予約乗合タクシーの利用促進について

【議員】今年度から新たに運行を開始した予約乗合タクシーやコミュニティバスについて、市民の皆さんへのPRや周知がまだまだ不足しているのではないのか。

【公共交通対策課長】周知、広報活動としては、運行開始前には各地区公民館で説明会を開催するとともに、各地区の自治会長会において説明を行った。また、市民向け利用ガイドやチラシの全戸配布、市報での特集記事掲載、地区公民館、スーパー、病院等でのチラシ掲示なども行った。現在は、自治会長、民生委員、

社協の方々にいきいきサロンなどの説明協力をお願いしている。今後はそのような場に職員が出向き、より理解を深めていただけるように説明するなどして、周知活動を行いたい。

【議員】今後も利用者増への取り組みを行い、継続した事業推進をしてほしい。



予約乗合タクシー

きれいなまちづくりについて

【議員】ポイ捨てやペットのふん害等がなくす環境美化については、行政と市民、市民団体、事業者が一緒になって取り組むべきと考えるが今後の展開はどうか。

【環境整備課長】市の第2次環境基本計画策定委員会においてもマナーやモラルの低さを指摘する意見が多く出たことから、同計画においては市民への啓発の意

味も含め、全市民一斉清掃キャンペーンを計画している。またその際には自治会など地域や事業者等のご協力を得ながら実施したい。

【議員】きれいなまちづくりのためには、関係する条例の策定も一助になると考えている。条例制定はマナーやモラルの向上やボランティアの活性化に関して、きれいなまちづくりの機運を高めることになるので、ぜひ前向きに検討してほしい。

永末 雄大 議員

通学路の安全について

【議員】全国で登校中の児童生徒が巻き込まれる悲惨な交通事故が多発している。本市の教育委員会としてどのような安全対策を行っているのか。

【学校教育課長】通学路における危険箇所を記載した安全マップの作成、児童生徒に対する交通安全教室、地域と連携した見守り活動、市報等による広報啓発を行っている。

【議員】本市において登下校時の死亡事故が発生していないのは、これらの取り組みが一定の効果を出しているためであると思うが、今後は加害者となり得るドライバーに対する啓発についても行う必要がある。通学路の安全確保については教育委員会だけの対応は困難であるため、行政が一丸となった取り組みを行うとともに交通安全条例等の制定についても検討してほしい。

節電の取り組みについて

【議員】今夏の節電について市役所ではどのような取り組みを行っているのか。

【環境整備課長】昨年同様、クールビズ、冷房温度の適正管理等の実施に加え、本年度は新たな取り組みを検討している。

【議員】市役所だけではなく、市全体で節電を考える必要があるが、市民に対しての啓発等はどのように行っているのか。

【環境整備課長】市報、ホームページ等による啓発のほか、グリーンカーテン植え付け会や打ち水大作戦等の環境イベントを通じ節電に関する啓発を行っている。

【議員】北九州市では日中の暑い時間帯を商店街や百貨店などで過ごすことで、各家庭の節電を図るとともにまちなかの賑わいづくりを進める取り組みを行っている。本市でもこのような取り組みについて積極的に検討してほしい。



グリーンカーテン植え付け会

江口 徹 議員

水道メーターについて

【議員】集合住宅の水道メーターの交換費用は個人負担だが、市が負担する自治体も多数ある。見直す考えはないか。

【上下水道事業管理者】期限を切って検討し、前向きに結論を出したい。

明星寺地区の生活環境について

【議員】採石場及び産廃施設設置予定の業者は、複数の違法行為により、県から何度も指導等を受けており、住民は悪質業者と考えている。現在、地域の住民はどのような被害を受けており、今後どのような被害を恐れているのか。

【環境整備課長】粉じん、騒音、土砂の流失、交通事故の危険等の他、中間処理後に残った廃棄物が違法に処理されるのではないかなどの不安の声を聞いている。

【議員】飲み水への影響や子どもたちの安全も心配されていると思うが、明星寺に公害は存在するのか。

【市民環境部長】市民の目線、不安という観点からいくと公害はあると考えられる。

【議員】市は、住民の生活を守るためにあらゆる手段を講ずるべきで、その一つが今回の市道の通行制限問題である。「違法ならば止める」と言う市長を信じた地域住民だが、違法が判明しても、いまだに止まっていない。また業者から通行認定の申請が出された翌日には許可を出しているが、この通行認定制度について、

市は基準等を定めておらず、更には通行認定が不要な業者にまで申請をさせている。原点に立ち返って住民の生命と財産を守るという行政の役割を一番に考えて対応をすべきだと考えるがどうか。

【市長】今回我々に非があるということは十二分に認めており、今後このようなことがないよう仕事を進めていきたい。

吉田 健一 議員

予約乗合タクシーについて

【議員】予約乗合タクシーの運行時間に休憩時間が設定されている理由は何か。【公共交通対策課長】労働基準法の就労時間の関係や先進地事例を参考に休憩時間を設定している。

【議員】利用者の9割は女性の高齢者であり、利用目的は通院と買物である。一度外出して両方の用件を済ませようとするれば、現在の運行時間帯では休憩時間にあたり利用が難しい。予約乗合タクシーは1台に1人の乗務員ということであるが、運行委託業者は民間のタクシー業者である。交代要員は確保できないのか。【公共交通対策課長】委託料や運行方法の習熟度等の理由で専属の乗務員が業務を実施しており、常時交代要員を確保することは難しいと考える。

【議員】専属の乗務員が急な休み、病気で運行できないときは交代要員なしでは対応できないと考える。今後、休憩時間の運行を検討するよう強く要望する。

放置空き家について

【議員】市内にある放置空き家の現状は。【市民活動推進課長】当該が把握している件数は68件であり、そのうち46件が老朽危険家屋である。

【議員】老朽危険家屋は倒壊、火災の恐れがあり、ごみの不法投棄の原因にもなる。空き家は地域の経済的価値を低下させ、まちの活力を奪いかねない。現在の市の対応と今後の取り組み内容は。【市民活動推進課長】老朽危険家屋についてはまず現地調査を行い、所有者調査を行っている。所有者が判明すれば文書または直接会い改善をお願いしているが、勧告や命令等の強制的な指導ができない。現在、所有者へ指導等ができるよう「空き家等の適正管理に関する条例」を検討している。

道祖 満 議員

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」について

【議員】昨年の9月議会の答弁において、この法律に基づき条例制定が必要な14項目については地域の実情を十分に考慮しなければならぬとの見解が多数あり時間を要するため、協議・調整を図りながら進めるとのことであったが、その後の取り組み状況、議会への上程時期、市民に対する説明等の方法についてどのように考えているのか。

【総合政策課長】条例制定の進捗状況について関係課に行った調査では、県等から情報収集を行うと共に、市民からの意見聴取や説明方法の検討を行っており、上程時期については大半が平成25年3月を予定しているとの回答であった。今後の法の趣旨を踏まえ地域の実情にあった最適なサービスを提供できるよう関係課で十分検討し条例の制定、改定を行っている。【議員】参酌基準による条例制定・改定する意味合いを十分考慮してほしい。

通学区域の弾力的運用に関して

【議員】学校教育法施行令第8条では、教育委員会が相当と認めるとき、保護者の申立てにより通学する小・中学校を変更できるとある。現在、この法令に基づき教育委員会は変更を許可したあと、年一回申立て理由を記載した書面を提出させ面接を行っている。学校を変更する場合、必ず教育委員会へ届け出るため、毎年度、申立て理由を書面で提出する必要はないと考えるが、改善できないのか。【教育長】一度申請すればよい申立て理由のケースもあるため、今後は申立て項目について精査していきたい。

田中 裕二 議員

橋梁の管理について

【議員】市が管理している橋梁の調査はどのように行っているのか。また、その結果はどうなのか。

【土木管理課長】現地にて橋梁の位置や状況を確認するほか、主要寸法の計測、写真撮影等により損傷具合を調査している。その結果は「補修の検討を実施するものが望ましい損傷あり」が209橋、「速やかに補修を実施するのが望ましい損傷あり」が33橋であった。

【議員】その結果を受けて、今後どのように対応していくのか。

【土木管理課長】今年度、この242橋を対象に橋梁長寿命化修繕計画を策定し、緊急性、重要性等を勘案して修繕を実施していく。

教育現場での防災教育について

【議員】岩手県釜石市では東日本大震災の津波被害により多くの人命が失われたが、小中学校においては8年前から独自の防災教育を徹底して行っており、児童生徒の99.8%が無事に避難し「釜石の奇跡」と言われている。本市における防災教育はどのように行っているのか。

【学校教育課長】火災、地震、風水害等のさまざまな災害発生時における危険について理解し、正しい構えと適切な行動がとれるようにすることを目的として、児童生徒の発達段階に応じた指導を行っている。

【議員】災害にはさまざまなケースが想定され、災害によって避難の仕方も異なる。誤った認識をしているために被害を受けることもある。どうすれば身を守ることができるのか正しい認識をさせる必要があることから、防災教育については今後も積極的に取り組んでほしい。

**議会に関する情報を
ホームページで公開しています。**

議会のホームページでは、会議の日程や議員名簿、委員会名簿のほか、本会議の会議録や、それぞれの常任委員会や議会運営委員会、特別委員会の会議録なども掲載しています。

- ホームページアドレス
<http://www.city.iizuka.lg.jp/giji/>

議会を傍聴してみませんか。

本会議や委員会（委員会は人数制限あり）はどなたでも傍聴できます。

議場へは3階の傍聴席入口のほか、4階からもご入場いただけます。

次回の定例会は9月6日（木）に開会の予定です。日程の詳細については、議会ホームページをご覧ください。議会事務局（電話0948-22-0214）までお問い合わせください。

6月定例会における議案の審査結果

議案番号	議案名	審査結果
52	平成24年度飯塚市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
53	飯塚市公告式条例の一部を改正する条例	原案可決
54	飯塚市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
55	飯塚市税条例の一部を改正する条例	原案可決
56	契約の締結（競走場走路改修工事）	原案可決
57	財産の取得（消防ポンプ自動車）	原案可決
58	財産の取得（教育用情報機器等）	原案可決
59	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更	原案可決
60	市道路線の認定	原案可決
61	専決処分の承認（平成23年度飯塚市下水道事業会計補正予算（第5号））	承認
62	専決処分の承認（平成24年度飯塚市水道事業会計補正予算（第1号））	承認
63	専決処分の承認（飯塚市税条例の一部を改正する条例）	承認
64	専決処分の承認（飯塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
65	公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めること	同意
66～69	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めること	同意
70	専決処分の承認（平成24年度飯塚市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第1号））	承認



7月1日（日）に福岡県主催の「嘉飯都市圏活性化推進会議」の取り組みの一環として行われた「中之島周辺花いっぱい大作戦」に参加し、飯塚市議会議員団で遠賀川中之島にヒガンバナの球根約4千個を植えました。

この日は最高気温が30度近くになる中、市長をはじめとする特別職や市役所職員にも参加いただき、汗だくになりながら作業を行いました。

順調に育てば、9月にはたくさんの花が咲き、皆さんの目を楽しませられるはずですよ。

「花いっぱい大作戦」に参加しました。